

透析患者と非透析患者における大腿骨転子部骨折手術の比較検討

研究協力をお願い

当院では、透析患者と非透析患者における大腿骨転子部骨折に対する骨折観血的手術の効果や合併症に関する研究を行っております。調査の意義や目的、研究方法は以下の通りです。「オプトアウト」という手法により、患者さん皆様から直接の御同意はいただきず、このお知らせにより御同意を頂いたものとして扱われます。患者さん皆様方には研究内容をご理解いただき、本研究へご協力頂きますようお願い申し上げます。

もしこの研究への参加をご希望されない場合、また途中で研究参加を取りやめる場合、その他この研究に関する問い合わせは、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

1, 研究の概要

研究対象者：大腿骨転子部骨折を発症し、当院で骨折観血的手術を受けた方

2, 研究の意義及び目的

骨粗鬆症を背景とした高齢化社会に伴い、転倒して発症する大腿骨転子部骨折の発生率は上昇傾向にあります。特に透析患者は高齢化、骨粗鬆症、骨質低下などが顕著であり、必然的に大腿骨転子部骨折を発症しやすいと言われています。原則として骨折観血的手術が考慮されますが、透析患者は出血傾向や易感染性など合併症も多く、透析患者に対しても安全に手術が施行出来るかどうかを評価するため、透析患者と非透析患者に対する骨折観血的手術をを比較検討する事を目的としました。

3, 研究方法

手術を受けた患者さんに対し、特別な侵襲や介入がない中で 1 年間観察し、手術の効果や合併症などを評価します。

4, 個人情報について

この研究に当たり、個人が特定できるような情報は使用されず、また研究発表時にも個人情報は使用されません。

5, 問い合わせ先

医療法人社団明生会理事長 田畑 祐輔

連絡先：043-224-8201 (医療法人社団明生会 三橋明生病院)